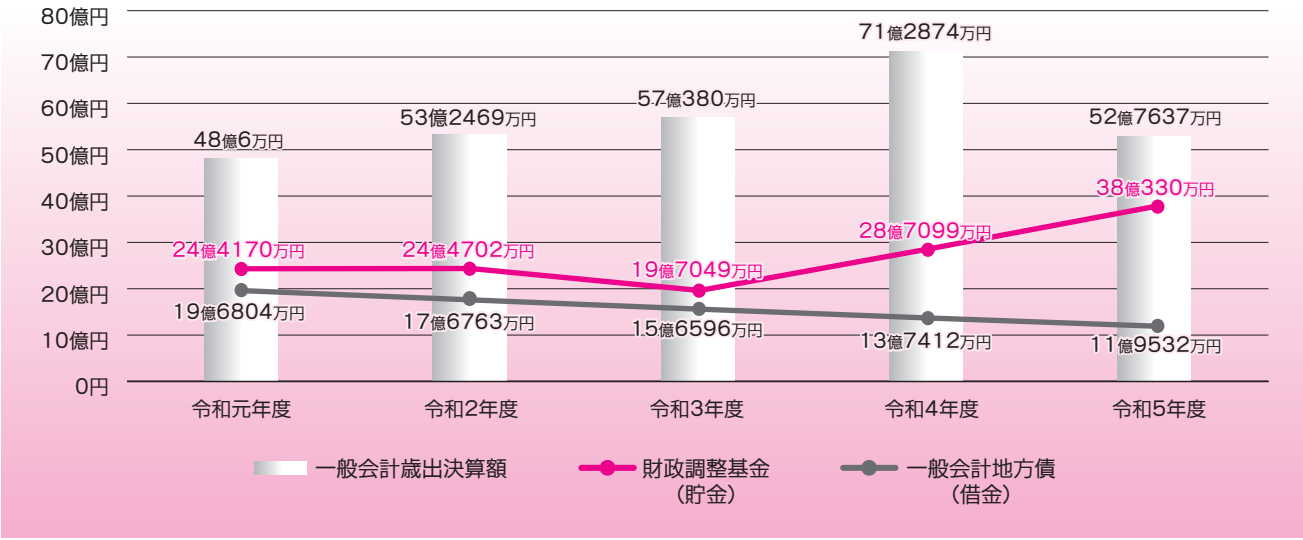


各会計の決算状況

(単位：千円)

会計別	予算額	決算額		歳入歳出差引額 (形式収支)	翌年度へ繰り越すべき財	実質収支
		歳入総額	歳出総額			
一般会計	5,817,954	5,977,811	5,276,375	701,436	112,067	589,369
特別会計	国民健康保険	825,928	797,324	66,328	0	66,328
	土地開発事業	91,183	91,243	491	0	491
	公共下水道事業	194,634	196,468	54,870	0	54,870
	農業集落排水事業	36,172	36,127	4,577	0	4,577
	介護保険	766,536	768,164	144,158	0	144,158
	後期高齢者医療	41,706	41,633	868	0	868
	小計	1,956,159	1,930,959	271,292	0	271,292
令和5年度決算額合計		7,774,113	7,908,770	6,936,042	972,728	860,661

一般会計歳出決算・貯金と借金の推移



財政指標

指標	実質収支比率	経常収支比率	公債費負担比率	財政力指数
	標準財政規模に対する実質収支額の割合	経常経費に充てた一般財源の経常一般財源に対する割合	公債費に充当された一般財源の一般財源総額に対する割合	財政力を表す指数、1を超えるほど余裕財源を保有
基準等	3～5%適正	80%以下	15%以上警戒	1以上で不交付団体
実績値	15.1% ※1	59.3%	3.7%	1.438
前年度比	3.6%落込み ※2	3.0%落込み	0.3%落込み	0.156落込み

※1 適正基準よりで予算残額が多い状況
※2 予算残額の増加による落込み

令和5年度決算認定

令和6年第3回定例会を9月10日から13日までの会期で開き、町から提出された21の議案等を審議しました。
9月定例会は決算議会でもあり、令和5年度の一般会計及び特別会計の決算を認定しました。また、令和6年第3回臨時会で否決した、広野町学校給食共同調理場建設工事の工事請負契約の締結に係る議案が改めて提出され、原案のとおり可決しました。

令和5年度決算のあらまし

一般会計の歳入面では、前年度と比較して16億9482万円減少しています。
町税は、町民税個人分・法人分及び固定資産税を合わせ、前年度と比較して1億3366万円(3.43%)減少し、令和5年度の震災復興特別交付税が3億3815万円交付され、財政調整基金年度末残高は9億3230万円増加となりました。
広野IGCCパワー合同会社に係る固定資産税大規模償却資産分による税収が減少となり、次年度以降はさらに逓減していくことが予測され、また、その他の税収増は見込めない状況にあるため、中長期的に歳入財源の確保は厳しさを増すものと思われます。
町税及び使用料等の収入未済額については、前年度と比較して303万円(5.16%)増加し、実質未納額は6182万円となっています。
歳出全体としては、前年度と比較して18億5237万円減少しており、要因は、総務費における基金積立金、特別会計繰出金の減少、土木費における事務的負担金の減少によるものです。
比率が低いほど財政運営に弾力性がある経常収支比率は、59.3%で前年度と比較して3.0ポイント増加しており、要因は、分母となる固定資産税大規模償却資産分の逓減によるものです。
また、国民健康保険や介護保険特別会計の給付費は、高い水準で推移しており、高齢者の疾病の早期発見、適正医療による重症化防止により、歳出の削減が求められます。

決算審査報告・審査意見



くじらおか こういち
鯨岡 公一 代表監査委員

各会計の歳入歳出決算等は正確なものと認め、予算の執行についても、適正かつ効率的に行われていると認めました。
町の財政状況は、広野火力発電所の固定資産税の大規模償却資産分への依存度が依然として高い状況にあります。
財政力を示す指標である財政力指数は、1を超えるほど余裕財源を保有することとなりますが、令和5年度は、1.438となり、普通交付税が交付されない不交付団体となりました。
令和6年度以降、広野IGCCパワー合同会社に係る固定資産税の大規模償却資産分は毎年逓減する税収であることを鑑み、令和5年度に実施した施策の結果を検証するとともに、町民のための優先事業等を見極め、さらなる財政の健全化を図る必要があると思います。